

# カラフトタカネキマダラセセリ

*Carterocephalus sylvicola*

セセリチョウ科

## 名前の由来

カラフトは「樺太に産する」、タカネは「高嶺」、キマダラセセリは黄色い斑のセセリチョウの意味。セセリは「せせる（つつく、刺す、あさるなどの意）」に由来する。漢字名：樺太高嶺黄斑拵



カラフトタカネキマダラセセリ（オス）

撮影-平林照雄

## 特定種

該当なし。

## 形態的特徴

黄色と黒の斑模様のやや小型のセセリチョウ。オスの翅表は光沢のある鮮黄色で、地色の黒色部は強く減退して斑紋状に見えるが、メスでは黄色部の発達がよく

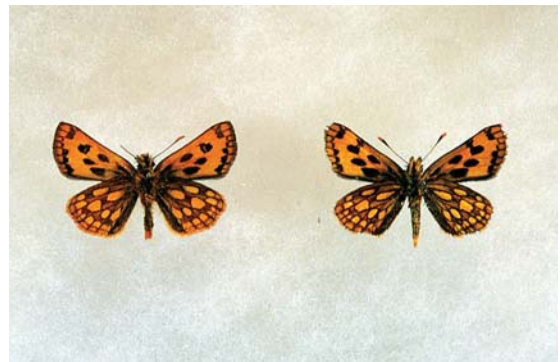
り弱く、地色の黒色部が強く、オスメスは翅表の斑紋で容易に区別される。裏面斑紋はオスメスほとんど同じである。

## 類似種と見分け方

タカネキマダラセセリ、コキマダラセセリ。タカネキマダラセセリは本州の高山に分布する種なので間違えることはない。コキマダラセセリは大きく、全体に橙黄色褐色で黄褐色の紋がありカラフトタカネキマダラセセリのようなコントラストのはっきりした斑紋ではない。



カラフトタカネキマダラセセリ。表。黒色が強い実物はもう少し黄色っぽい（左がオス、右がメス）



カラフトタカネキマダラセセリ。ウラ。実物はもう少し黄色っぽい（左がオス、右がメス）

チョウ標本：吉原利之氏作成・所蔵



コキマダラセセリ。表（左がオス、右がメス）黄褐色の紋がある

## 生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
卵期				■	■							
幼虫期	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■
蛹期		■	■	■								
成虫期			■	■	■							

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類  
ワシ・タカ

## 生育環境・分布

主に平地から低山地の草地に生息し、草上を低く飛ぶ。  
**分布：**国外分布は、ユーラシア大陸北部。国内分布は、北海道のみ。北海道内では、石狩低地帯以東に分布する。離島、高山帯の記録はない。

十勝地方では、平野部から山岳部まで普通に見られるが、発生時期が著しくずれ、平野部では5月下旬から、東ヌプカウシヌプリなどの山岳部では7月の中旬から下旬まで見られる。

## 繁殖生態・寿命

年1回の発生。平地から低山帯では6月、山地では7月に出現。越冬態は幼虫。産卵は食草の葉裏に1個ずつ行われる。  
孵化した幼虫は葉の先端に葉の表を内側にした10mmほどの円筒形の巣を造る。巣の両端付近を台形状に食べ、成長に伴いしだいに大きな巣へと造りかえる。5～7齢で

巣の中で越冬すると考えられるが、野外でのくわしい報告はない。

越冬後の野外の記録はまったくないが飼育によると越冬から覚めた幼虫は摂食することなく、食草の枯れ草をあらくつつってその中で蛹化するという。寿命：不明。

## 他生物との関わり

- \*イワノガリヤス、オニノガリヤス、ヒメノガリヤス、オオアワガエリを食草とする。
- \*エゾノタチツボスミレなどのスミレ類、コンロンソウ、ヨツバヒヨドリ、クガイソウ、チシマフウロ、キジムシロ、ナガバキタアザミなどのアザミ類、セイヨウタンポポ、シロツメクサなどで吸蜜する。
- \*越冬からさめた終齢幼虫からコマユバチの1種の幼虫が出て、虫体の周囲に繭をつくる。この寄生率はかなり高い。
- \*成虫はハナグモの1種に捕食されることがある。



エゾノタチツボスミレ。  
カラフトタカネキマダラセセリが吸蜜する花の一つ

## 幼虫の食性（食草）

イワノガリヤス、オニノガリヤス、ヒメノガリヤス、オオアワガエリ。

## 興味深い話

- 日本産のチョウの中で最も長い名前がつけられている。キマダラセセリというチョウに似た種が本州の高山帯で発見され、「高嶺」という接頭語がつき、さらにそれによく似た種が樺太（現在のサハリン）で見つかったためこんなに長くなった。
- このチョウは青色のものを好む性質があるようである

ことがわかっている。吸蜜植物も例外は多くあるが、青紫系統の花が多いように思われる。このようにチョウの好む色を見つけてみるのもおもしろい。

■十勝地方のアイヌ語では、チョウ類一般を「マレウレウ」という。

## 配慮事項

イワノガリヤスなどの食草の自生地が必要。

### 参考文献

- 「原色蝶類検索図鑑」猪又敏男 北隆館 1990
- 「日本のチョウ」海野和男・青山潤三 小学館 1981
- 「原色昆虫大図鑑Ⅰ（蝶蛾編）」北隆館 1978
- 「北海道昆虫ガイド」北海道昆虫同好会 北海道教育社 1984
- 「学研生物図鑑 昆虫Ⅰチョウ」監修 白水隆 学習研究社 1983
- 「十勝の蝶」大和与三追悼集 十勝蝶の会 1993
- 「北海道の蝶」永盛拓行・永森俊行・坪内純・辻規男 北海道新聞社 1986
- 「原色日本蝶類生態図鑑（Ⅳ）」福田晴夫・浜栄一 他 保育社 1984
- 「知里真志保著作集 別巻Ⅰ 分類アイヌ語辞典 植物編・動物編」知里真志保、平凡社 1976

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

（在来種）  
草花

（外来種）  
草花

哺乳類

（水辺）  
鳥類

（草原・森林）  
鳥類  
ワシ・タカ